

平成20年度 福井県推奨図書

幼児から

くまとやまねこ



湯本香樹実 / 文
酒井駒子 / 絵
河出書房新社 ¥1,300 (税別)

突然に最愛の友だち、「ことり」を亡くしてしまった「くま」は、悲しみにくれ、暗く閉め切った部屋にひとりとしこもる。

ある日、「くま」は「やまねこ」と出会う。モノクロの絵が内容とよくマッチした絵本である。

小学生(低学年)から

せんねんまんねん



あらゆるいのちはつながっている。これまでも、そしてこれからも...

童謡「ぞうさん」で知られる詩人まど・みちおの言葉が、柚木沙弥郎の絵によって、雫のように深く胸に落ちてくる絵本。

まど・みちお / 詩
柚木沙弥郎 / 絵
理論社 ¥1,500 (税別)

竹とぼくとおじいちゃん



星川ひろ子、星川治雄 / 著
ポプラ社 ¥1,200 (税別)

小学一年生のつばさは、おじいちゃんと真竹の竹の子をとりに行く。

10日ほどで自分の背たけを越してしまう竹の子に驚くつばさ。つばさは、おじいちゃんの作る竹ぼうきや、青空に舞い上がる竹とんぼに感激する。

おじちゃんと孫の交流を綴った写真絵本。

てぶくろがいっぱい



双子のネッドとドニー。ある日、ドニーが赤い手袋を片方なくしてしまう。

近所の人達が次々に落ちていた手袋を届けてくれたので、二人の家には手袋がいっぱい集まった。二人は、ものほしロープに手袋をつるし、張り紙をした。

フローレンス・スロポドキン / 文
ルイス・スロポドキン / 絵
三原泉 / 訳
偕成社 ¥1,200 (税別)

しちどぎつね



上方落語の七度狐(しちどぎつね)をもとに書かれた絵本。

大阪の仲のいいふたり連れ、きろくとせいちはお伊勢参りに。旅の途中、お腹がすいて畑からすいかを盗んだ二人。でも、まだうれていなくて食べられない。きろくが捨てたすいかは、きつねの頭にごつんとあたった。

たじまゆきひこ / 作
くもん出版 ¥1,500 (税別)



小学生(中学年)から

森のすみか

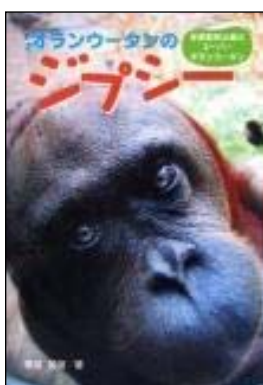


モモンガのクルルは、あなぐまのズーイと出会った時には一人ぼっちだった。

はじめは、敵か味かわからないズーイだったが、信頼のおける友だちになっていく。登場する森の中の様々な動物たちの気持ちの通じ合いが描かれている。

さくらいともか / 著
福音館書店 ¥1,700 (税別)

オランウータンのジブシー



ジブシーは推定53歳のオランウータン。赤ちゃんのときに、熱帯のカリマンタン島から日本にやってきた。

飼育員である著者が、ジブシーの魅力をつぶり語ったノンフィクション。

人間と野生動物の共存についても考えられる。

黒島英俊 / 著
ポプラ社 ¥1,200 (税別)

汽笛



太平洋戦争が終わり、やっとの思いで日本に引き揚げてきた兵隊さんは、弱った身体をいやすために、長崎の病院に入院することになった。

そこには、被爆した子どもたちが大勢入院していて、たくましく生きていた。

長崎源之助 / 作
石倉欣二 / 絵
ポプラ社 ¥1,100 (税別)

里山百年図鑑



松岡達英 / 作
小学館 ¥2,200 (税別)

本書は、豊かな自然の中に生きる昆虫、川魚、木の実、山菜などが細かな部分までリアルに描かれていて、写真とは一味違った温かみを感じる。

里山の楽しみ方が満載で、里山に出かけたい気持ちにさせてくれる一冊である。

先生と老犬とぼく



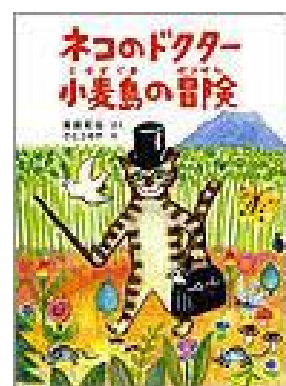
小学3年生のマーヴィンは、担任の先生に留守の間の老犬の世話を頼まれる。

初めてのアルバイトに張り切るマーヴィンだが、老犬は一筋縄ではいかない。

マーヴィンは、誘惑にもまげず、一生懸命努力するのだが...

ルイス・サッカー / 作
はらるい / 訳
むかいながまさ / 絵
文研出版 ¥1,200 (税別)

ネコのドクター小麦島の冒険



町の人たちが次々と「ゆっくり症」になっていく。

若き学者(ドクター)、ネコのジョンは、特定のパンを食べた人達が「ゆっくり症」になるのではないかと推測し、そのパンの原料の小麦粉を作っている「フラワー島」へ旅立つ。

南部和也 / 作
さとうあや / 絵
福音館書店 ¥1,500 (税別)

小学生(中学年)から

ふたご桜のひみつ



優人は春から小学六年生。3月に東京に引っ越してきた。優人は、自宅マンションの古い団地で、「咲かぬ桜」と呼ばれる老木を見つける。そんな優人の前に、不思議な少女桜子が現れる。優人は、花を咲かせることをやめた桜の木の秘密を知るのだが...

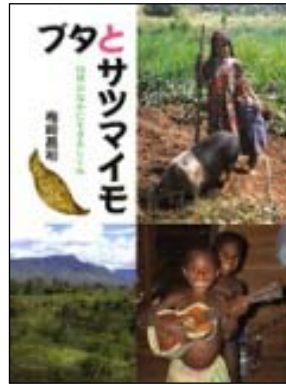
たからしげる / 作
こころ美保子 / 絵
岩崎書店 ¥1,300 (税別)

宇宙においでよ!



宇宙飛行士の野口聡一さんから、「宇宙時代」に生きる若い人たちに向けたメッセージ。野口さんが初飛行で体験した宇宙生活の紹介、宇宙飛行士になるまでのいきさつ、自身も2009年末から約半年間くらす予定の宇宙ステーションのことなど、宇宙についてたっぷり紹介してくれる。
野口聡一 / 著 林公代 / 文
植田知成 / イラスト
講談社 ¥1,400 (税別)

ブタとサツマイモ



パプアニューギニアの大自然の中に生きる人々の、ほぼ自給自足の暮らし、社会が成り立っている「人間が生きる仕組み」の鍵は、ブタとサツマイモにあった!

梅崎 昌裕 / 著
小峰書店 ¥1,500 (税別)

小学生(高学年)から

美しいハンナ姫



ポーランドに古くから伝わる民話をモチーフとして、ポーランドの作家が物語にまとめた作品集。ハンナ姫は、世界中のどんな王子も自分にはつりあわないという高慢な姫。賢いハヌシ王子がハンナ姫と結婚するまでのお話。そのほか、5話のお話を収録。
マリア・ケンジョジーナ / 作
足達和子 / 訳
岩波書店 ¥720 (税別)

飼育係が見た動物のヒミツ51



ライオン、キリン、チンパンジーなどのよく知られた動物から、ムフロンやグロウワームといったあまりなじみのない動物まで。多摩動物公園で暮らす51種類の動物たちについて、これらの動物たちに日々接している飼育係ならではの、とっておきの話が紹介されている。
多摩動物公園 / 著
築地書館 ¥1,600 (税別)

そのぬくもりはきえない



小学四年生の少女「波」は、自分の思いを上手に伝えることができなかった。ある日、波は、犬の散歩を頼まれた家に住む「朝夫」と出会う。波は、現実と架空の生活を行ったり来たりしながら、「朝夫」と心を通わせ、自分の気持ちに正直になっていく。
岩瀬成子 / 著
偕成社 ¥1,400 (税別)

漂泊の王の伝説



6世紀ごろのアラビアを舞台とした歴史ファンタジー。砂漠の王国、キングの王子ワリードは、ある時美しい絨毯(じゅうたん)織りに不当な仕打ちをしてしまい、絨毯織りは死んでしまった。ワリードは「漂泊の王」となり各国を遊歴し、さまざまな人々と交流する。
ラウラ・ガジェゴ・ガルシア / 作
松下直弘 / 訳
偕成社 ¥1,500 (税別)

サルが木から落ちる



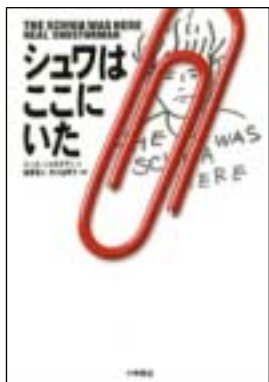
熱帯林に住む動植物を通して、自然界で生き物たちが営みを続ける姿を、生物学者、動物学者が長年の調査・研究をもとに、わかりやすく紹介している。環境問題に直面する現代の子どもたちに、ぜひ読んでほしい。
スーザン・E・クインラン / 絵・文
藤田千枝 / 訳
さ・え・ら書房 ¥1,500 (税別)

幸せになる力



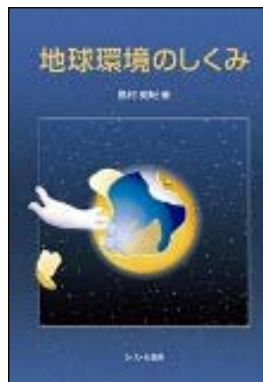
教育系大学出身の作家が、幸せになる力について、10代の子どもたちとその保護者を対象に語り口調で書いている。「勉強ができれば幸せなのか」、「勝ち組になろうと考えるな」などの章立てで、共感できるところから読み始めることができる。
清水義範 / 著
筑摩書房 ¥700 (税別)

シュワはここにいた



シュワという影が薄く友人も少ない男の子と、その存在に関心を持った主人公アンツィの男の子同士の友情物語。二人が同じ女の子を好きになったり、シュワの生い立ちを調べるアンツィの心の葛藤も見事に描かれる。
ニール・シャスタマン / 作
金原瑞人、市川由季子 / 共訳
小峰書店 ¥1,600 (税別)

地球環境のしくみ



現在の地球環境を取り巻く問題が、わかりやすく書かれている。地球の構造解説から始まり、空気や水、エネルギーや食糧の大切さ、人間以外の生物への影響を再認識させてくれる。
島村英紀 / 著
さ・え・ら書房 ¥1,500 (税別)

林家正蔵と読む落語の人びと、落語のくらし



江戸の長屋に住んでいる人々の楽しみは何か、どんな食べ物を食べていたのか。長屋、そば屋台、お花見、相撲など、落語の舞台になっている風景や生活習慣などを、落語のお話からわかりやすく解説。
林家正蔵 / 監修
小野幸恵 / 著
岩崎書店 ¥1,200 (税別)

小学生(高学年)から

フュージョン



中学二年生の朋花は、優等生だが心の中では毒づいている。ウサを晴らすように自転車をとばして着いた公園で、偶然「ダブルダッチ」(2本のロープを使って様々な跳び技を披露する競技)に出会う。

ダブルダッチとの出会いをきっかけに、朋花の毎日が変わっていく。

濱野京子 / 著
講談社 ¥1,300 (税別)

ペチカはぼうぼう猫はまんまる



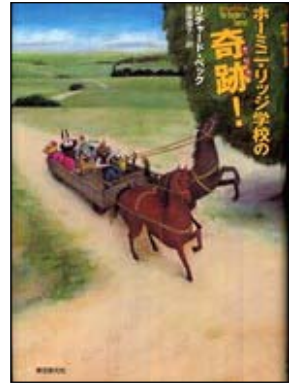
ロシアの昔話風の連作短編集。「猫と犬と馬が泉をさがす旅に出た話」「悪魔とわたりあったわかもの話」などの5話を収録。

不思議な話、ちょっと怖い話、せつない話など、どれも楽しめる。

異国の不思議な雰囲気に取り込まれる一冊である。

やえがしなおこ / 作
ポプラ社 ¥1,200 (税別)

ホーミニ・リッジ学校の奇跡!



1904年、インディアナ州の田舎町にある小さな学校の女性教師が急死した。

向学心に欠ける主人公のラッセルと弟のロイドは学校閉鎖を願うが、代理教師としてやってきたのは、二人の姉である17歳のタンジーだった。

リチャード・ペック / 著
斎藤倫子 / 訳
東京創元社 ¥1,800 (税別)

ぼくとルークの一週間と一日



両親が死んで大おじ一家にひきとられたデイヴィッド。しかし、いつも感謝を求められ、うんざりしていた。

そんなデイヴィッドのもとに、不思議な少年ルークが現れ、デイヴィッドの生活は一変する。

少年の友情と冒険を愉快に描いた物語である。

ダイアナ・ウィン・ジョーンズ / 著
大友香奈子 / 訳
東京創元社 ¥1,800 (税別)

夢の彼方への旅

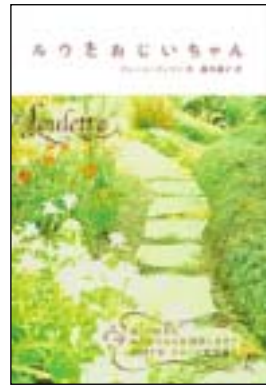


ロンドンの寄宿学校で暮らすマイアは、事故で両親を亡くし、家庭教師の先生とともに、ブラジルに住む親戚のもとへ引き取られることになった。

長い船旅のすえ、たどりついた美しい町で、マイアははしだいにアマゾンの生活に魅せられていく。

エヴァ・イボットソン / 著
三辺律子 / 訳
偕成社 ¥1,600 (税別)

ルウとおじいちゃん



ルウの大好きなおじいちゃんは、愛するおばあちゃんを亡くし、ショックで心が死んでしまった。一日じゅうぼんやりと椅子に座って、食事もしない。

ルウは、おじいちゃんがホームに入れられるのをやめてもらうため、おじいちゃんの誘拐を計画する。

クレール・クレマン / 作
藤本優子 / 訳
講談社 ¥1,400 (税別)

ぼくらが大人になる日まで



現代の小学生が、親の期待や都合によりそれぞれの重荷を背負いながら、中学校進学に立ち向かい、中学受験を目前に、反乱を起こす話である。

受験をきっかけに、「大人になる」6人の姿を丁寧に描いた一冊である。

岡田依世子 / 著
講談社 ¥1,300 (税別)

ダイドーと父ちゃん



19世紀のイギリスを舞台にした、元気いっぱいロンドンっ子、ダイドーの冒険物語。

ダイドーの父は素晴らしい音楽家である反面、狡猾で、王様の暗殺計画に加担している。

ダイドーは、親友たちとその計画を潰そうと奔走する。

ジョン・エイキン / 作
こだまともこ / 訳
富山房 ¥1,819 (税別)

夏の階段



中学卒業後、世間で「勝ち組」と認められる進学校入学者の5人の若者が、悩み、苦しみ、喜びを発見したり、挫折したりする姿を描いた連作短編集である。

青少年の多感で揺れる時期に、他人や社会との関わりを築くヒントにしてほしい一冊である。

梨屋アリエ / 著
ポプラ社 ¥1,300 (税別)

中学生から

伴走者たち



副題は「障害のあるランナーをささえる」。その人たちとともに走る人やサポートする人取材したノンフィクション作品。

著者自身も伴走者への苦労と努力を重ね、ランナーへの心づかいが息づく一冊である。

星野恭子 / 著
大日本図書 ¥1,600 (税別)

あのころ、先生がいた。



著者は50代の女性詩人。小学生から高校生のころに出会った、忘れられない先生とのステキな思い出をユーモアをまじえて描く。

等身大のおとなの姿と「出会い」のかたちを豊かに描き出す一冊である。

伊藤比呂美 / 著
理論社 ¥1,200 (税別)

建築家になろう



建築社会学者が、町や都市をつくるもとになっている家の建築について書いた作品。

著者は、一軒の家には社会を変える魔法の力があり、建築家はその魔法使いと考えている。「仕事」について考え始める青少年にすすめた一冊である。

榎野紀元 / 著
ひらかわしょうじろう / 画
国土社 ¥1,200 (税別)

中学生から

大地と人を撮る



アンデスやインカに魅せられ、35年間、毎年ペルーやボリビアに通い続けた写真家の撮影記録。

アンデスの大自然や村の人々の暮らし、伝統的な祭り、食べ物、神秘的なインカの遺跡などを写真とともに紹介し、アンデスの魅力と、人や自然にふれながら歩くことの楽しさを伝えてくれる。

高野潤 / 著
岩波書店 ¥980 (税別)

ユゴーの不思議な発明



舞台は1930年代のパリ。主人公はパリ駅の秘密の部屋に隠れ住む12歳の孤児ユゴー。彼は、父がのこしたからくり人形に隠された秘密を探っていくうちに、不思議な少女に出会う。からくり人形には、秘密が隠されていた。

ブライアン・セルズニック / 著
金原瑞人 / 訳
アスペクト ¥2,800 (税別)

あなたはそっとやってくる



15歳の黒人男子生徒と白人女子生徒の淡くて切ない初恋物語。

まわりの人々の視線や暴言など気にならない、二人だけの世界に入って楽しいばかりの初恋。しかし、二人をとりまく環境は厳しい。

ジャクリーン・ウッドソン / 著
さくまゆみこ / 訳
あすなろ書房 ¥1,400 (税別)

中学生・高校生・勤労青年から

医学のたまご



中学一年生の薫は文科省の「潜在能力試験」で全国1位になってしまう。(とはいえ、父親が薫を試験台にして作り上げた問題だから当たり前だった。)

「ごくフツの中学生」の薫が、大学の医学部で医学の研究をすることになった。

海堂尊 / 作
理論社 ¥1,300 (税別)

いのちをはぐくむ農と食



著者いわく、「日本の農業は崖っぷちにある」。食料の自給率が30%台になっている現状とさらなる自給率減少が予測される実態に危機感を抱き、その打開を訴えている。

写真を多く掲載し、わかりやすく解説して読みやすい。

小泉武夫 / 著
岩波書店 ¥780 (税別)

道具にヒミツあり



著者は町工場で51年間技術者だった人。人々がふだん何気なく使ったり見たりしている身近な道具の秘密を解き明かす。

克明な取材をもとに、「ものづくり」の視点から、わかりやすく、面白く書かれた本。道具の「ヘエ〜」がわかる。

小関智弘 / 著
岩波書店 ¥780 (税別)

武士道シックスティーン



全国中学校剣道大会2位の実績を持つ「香織」は、日本舞踊から剣道に転向したばかりの「早苗」に、中学最後の地域大会で、なぜか負けてしまう。

その後、性格も考え方も違う二人は、同じ高校の剣道部員となる。

菅田哲也 / 著
文藝春秋 ¥1,476 (税別)

夢を跳ぶ



19歳で骨肉腫を発症し、右足膝下を切断するという大手術を乗り越え、パラリンピック選手として活躍する著者の道のりを語る。

様々な困難を克服し、多くの出会いを通して、障害者と健常者のかけ橋になりたいと行動する著者。その努力と不屈の精神が易しい言葉で語られる。

佐藤真海 / 著
岩波書店 ¥740 (税別)

ゆりちかへ



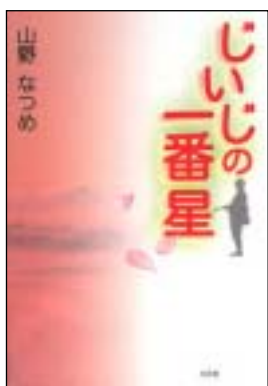
著者は、妊娠中に悪性腫瘍がわかり、出産・育児をしながら闘病生活を送っていたが、およそ2年半後に亡くなった。

本書は、その間に綴った娘へのメッセージと闘病記である。

テレニ昂子 / 著
書肆侃侃房 ¥1,300 (税別)

高校生・勤労青年から

じいじの一番星



本書は、中国、東南アジア地域を約5年間にわたり転戦した「じいじ」の太平洋戦争従軍体験日記と、「じいじ」の孫にあたる著者が晩年の祖父との思い出を綴ったエッセイとが交互に編まれた一冊である。

山野なつめ / 著
文芸社 ¥1,000 (税別)

ダモイ遙かに



昭和20年、シベリアに移送抑留された「山本幡男」。彼は、飢餓と苛酷な労働に苦しみながらも、帰国(ダモイ)の希望を捨てず、仲間を励まし続けた。

山本はダモイの夢かなわず亡くなってしまいが、仲間たちは、彼の遺書を家族に届けるべく、命がけの行動を実行する。

辺見じゅん / 著
メディアパル ¥1,500 (税別)

友だち幻想



身近な人との親しいつながりが大事だと思っていて、そのことに神経がすり減るくらい気を遣っているのにうまくいかないのはなぜか。

現代の若者のコミュニケーションの特徴を、さまざまなキーワードにしたがって分析し、人と人とのつながりについて考える。

菅野仁 / 著
筑摩書房 ¥720 (税別)

マークのついた本は、
県民の方から推薦された本です。

県では、概ね2か月に一度、福井県青少年愛護条例に基づき優良図書の推奨を行っています。県民の皆様も、青少年の健全な育成に有益と思われる本がございましたら、下記事項を記載の上、書面またはE-mailにて、当課までお知らせください。

【優良図書推薦書記載事項】 1 推薦者住所・氏名 2 推薦年月日 3 図書名 4 著作者 5 出版社名
6 価格 7 初版年月日(概ね1年以内において刊行されたものをご推薦ください)
8 対象年齢・学年 9 推薦理由・内容等

推薦書送付先

〒910-8580(専用郵便番号)

福井県安全環境部県民安全課 青少年育成グループ

Tel 0776-20-0296 Fax 0776-20-0633

E-mail アドレス kenan@pref.fukui.lg.jp

HP アドレス http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kenan/